

令和6年度第1回三沢市中小企業振興会議議事録

1. 開催日時 令和6年5月14日(火)
10時00分 開会
11時00分 閉会
2. 開催場所 三沢市役所 本館4階 大会議室
3. 出席者
会長 前田 博 委員 谷内 大介
委員 附田 久志 委員 佐藤 大輔
委員 木村 深 委員 伊与部 久美
委員 田村 正文 委員 濱端 美奈子
委員 榎 公彦 委員 久保 弘志
委員 花田 仁 委員 保坂 梨恵
委員 鹿目 寿美子
4. 欠席者 副会長 月舘 学 委員 丹波 一弘
5. 事務局 経済部長 坂岡 敏行 産業振興課長 河村 健康
産業支援係長 松橋 朋子 商業振興係長 鈴木 一豊
主査 平 恵美子 主事 若松 賢
主事 堤 友人
6. 開催概要
◎三沢市中小企業振興会議委嘱状交付式及び令和6年度第1回会議
(1) 委嘱状の交付
(2) 市長挨拶
(3) 委員及び事務局員紹介
(4) 会長の互選 前田委員選任
(5) 副会長の互選 月舘委員選任
(6) 今後のスケジュール等について 事務局より説明(資料1、2)

7. 会議概要

(1) 今後のスケジュール等について質疑応答

発 言 者	内 容
前 田 会 長	「今後のスケジュール等」につきまして、事務局より説明をよろしくお願いします。
事 務 局	(事務局より資料に沿って説明)
前 田 会 長	事務局ありがとうございました。 それでは質疑応答を行いたいと思います。
保 坂 委 員	質問です。議員との意見交換会は、今期は特に予定はしてないということでしょうか。
前 田 会 長	事務局、よろしくお願いいたします。
事 務 局	先ほども触れさせていただきましたが、あくまでもこの案については事務局案ですが、市議会も3月に改選がございまして、体制も正副議長が変わりました。 もし、委員の皆様からご要望があれば、議会の方には申し伝えて、実際に開催されるかどうかは、議会に委ねる部分ではありますが、意見があれば、議会の方には伝えて参りたいと考えております。
保 坂 委 員	ありがとうございました。
前 田 会 長	それではその他何かございませんか。 久保委員。
久 保 委 員	私は、初めての身ですけれども、令和7年の第6回の施策提言を目標にして、5回までの会議を予定されていると思うんですけど、私は中身がよく分かっていないんですけども、毎年このくらいのスケジュールですか。
事 務 局	先ほど別の委員の方からのお話もありました、この間に議会との意見交換などを挟むと、おおむねこのような回数であると承知しています。
久 保 委 員	私のイメージですが、少ないかなと。イメージですが。 この回数を持って、最終的なこの第6回の目標まで、達成できるのかなと、私の率直な感想を申し上げたところではあったので、一応確認でした。
前 田 会 長	事務局お願いします。

事務局	<p>繰り返すにはなりますが、あくまでも案でございます、まず、産業の進行状況を見ながら、委員の皆様でもう少し議論したいとか、そういった声があれば、それを妨げるものではございませんので、合意形成さえできれば、何度でもという風には考えております。</p>
久保委員	<p>了解いたしました。</p>
前田会長	<p>ということで、もし要望があれば、事務局としても、次々開いていく、意見を聞いていく、意見をアドバイスということでしたので、よろしくご協力のほど、お願いします。</p> <p>その他ないでしょうか。私の方から指名させてもいいかな。</p> <p>附田委員お願いします。</p>
附田委員	<p>前に出たかどうか記憶がないんですけど、障害者雇用に関する問題については、議論はなされることはないでしょうか。</p>
前田委員	<p>事務局説明をお願いします。</p>
事務局	<p>お答えいたします。過去に担当していた者から聞いたのですが、何回か議論になったことがあると聞いておりますが、ただ、深堀するような議論には発展しなかったと聞いておりました。</p>
附田委員	<p>たまたまですが、同友会の方で2024年に、障害者問題の全国大会が開かれて、障害者問題は全国的な問題で、青森県だけの問題だけではもちろん無いと思いますが、中小企業にはまず、雇用しなければならないというのがなされない企業の方が多いとは思いますが、ただ障害者の方が年々増えていらっしゃると。これは三沢市も例外ではないと思うんですよね。</p> <p>雇用の場を設ける社会復帰といいますかね、そういったところをですね、中小企業が今後考えていかなければならない1つの課題であると思うんですが、その議論の場を少しでも設けていただければ、市の別な課が入ってくると思いますけども、よろしくお聞きしたいと思っております。</p>

前田会長	<p>ということで、事務局の方、よろしく検討をお願いいたします。</p> <p>次に、今働き改革等の問題もありますし、新卒者の問題もありまして、いい塩梅で、委員ですね、商業の教頭先生になっていました濱端委員からも意見があればお願いします。</p>
濱端委員	<p>先日、新聞にも載ったんですけども、本校は地域の経済活性化を目指せるような、会計人の育成ということで、日商の簿記の資格であったりとか、最終的に取れる資格として行っております。そして、地元で働くことができれば非常にありがたいと思っておりますし、大学に行ってもまた戻ってきて地元の力になれるような、そういう人材を輩出して行けたらと思っております。</p> <p>具体的な中小企業さんの何かということで、直接的なことが中々できないかもしれないですけども、人材の育成であるとかそういった所で貢献していけたらと考えているところです。</p> <p>障害者雇用が先ほど話題になったので、少し県立の学校の様子をお伝えしたいなと思います。今の県立学校ではスクールサポートスタッフという枠組みで、大体各校に1人の枠がございまして、障害者の方が応募できるものとなっております。本校にも有していただいております、県立学校の障害者雇用を作る、いわゆる1人くらいですけども、各校に今そういった雇用があるという状況です。もちろん子供たちと接する機会もございまして、私共教員も、障害者様の働き方ということで色々勉強している形でございます。</p> <p>ご期待に沿うご意見ではないかも知れないですが、失礼いたします。</p>
前田会長	<p>教頭先生ありがとうございました。</p> <p>次に三沢の状況という事で、公共職業安定所の榎委員、現状でも良いので、何かお話があれば。</p>

<p>槇 委 員</p>	<p>現状ということで、資料を持ち合わせていないので、正確な数字ではないですけども、先ほど、新卒者の話が出たんですが、たまたま、今日の午後ですね、早期求人の活動要請ということで、商工会とか三沢地区の雇用対策協議会に早く求人を出していただきたいという要請を行うのを予定しています。</p> <p>昨年度、今年の春に卒業した生徒の情報でいうと、三沢市というよりもハローワーク三沢の管轄になりますけども、102名の生徒が就職されて、その内69名が地元、青森県内の就職、ですから65%が県内就職をしているという状況で、以前と比べると大分地元志向が高まっているのかなというところもあります。</p> <p>求人への受理が6月1日から始まりますので、それに向けて中小企業さんも含めて早期の求人を出していただくように要請するというところです。</p> <p>後、求人のところでいうと、求人倍率は2月に1倍を切ったんですけども、令和3年の5月から1倍を超える月がずっと続いていたということで、2月はどうしても管内、ちょっと大規模な解雇者等があったので、求人倍率が下がったというところはありますけど、今、1.13倍くらいの倍率という風になっています。</p> <p>求人の状況を見ると、求人はやや減少傾向にはあります。やはり先ほど市長様からお話があった、円安の影響であるとか、エネルギー費等の高騰などで、企業活動も難しいとか、そういうところもあるかもしれませんが、業種で見ると、運輸関係が結構求人が多く1年前、前年度と対比すると、前年が66人くらいで、今年の3月の数字ですけど、100人を超えるくらい求人が増加しているという中では、運輸関係は労働者不足が出てきていると感じているところです。</p> <p>ちょっとまとまりのない発言で申し訳ありませんが、以上です。</p>
--------------	---

前 田 委 員	<p>所長さんありがとうございます。</p> <p>次に、大学という事で、八戸の大学もありますけども、三沢からも大分通っているはずですけども、そのような状況も踏まえまして、八戸学院大学の田村委員をお願いします。</p>
田 村 委 員	<p>今、データとか情報や、詳細な数字は持ち合わせておりませんが、三沢あるいはおいらせ周辺から通学している学生も、大体本大学でトータルで1割2割程度おりますけども、短期大学部の方は、幼児保育学科の幼稚園の先生とか、大体、小檜山市長の経営する幼稚園、ああいうところには、毎年若干名就職されております。</p> <p>後は、三沢病院ですとか、総合病院、看護学科の学生が看護師として、就職をされるというパターンがありますし、後、人間健康学科から社会福祉法人とかに数名就職をされているとかありますけど、どちらかと言えば、社会福祉、看護師、幼稚園の先生、資格を持っているとかですね、そういう事を専門で大学で勉強したとか、そういうパターンが多くて、私が所属している地域経営学部というどちらかというと経済学部とか経営学部とか何でもありという、そういうような環境で学んだ学生とかは、教職、三沢高校から三沢商業からも生徒さんが来ていますが、教職を取るといっても、採用状況が厳しいという、後、最近あの働き方の問題で、学校の先生が厳しいという理由で辞退してしまう、途中で辞めてしまうというもったいない方も見受けられます。</p> <p>どちらかという、学生も都会の方に行きたいという志向が強いんですけども、2、3年くらいしてから、やっぱ田舎に戻ってきたいというUターンパターンもございますので、中途採用といいますか、今は昔みたいに終身雇用といいますか、働いたら定年までずっとそこにいる、そういうパターンもかなり少なくなってきたかなと思われまして、中途採用かどうかそういったところをですね、広げていったりとかですね。</p>

田 村 委 員	<p>後、田舎の方では、基本的には縁故採用が多いパターンがありまして、例えばJ Aとかですね、自分の父親と祖父がJ Aの職員だったんで、自分も1次試験が通れば、面接は何とかしてもらえるから、1次を頑張れば何とかなるというパターンが結構多いみたいですけど、そういうどちらかというところ、途中からの中途採用とかの情報をですね、都会の方に向けて発信するというのも今後重要になってくるんじゃないかと、感じております。</p> <p>ただ、幼稚園の先生、看護師、社会福祉士、あるいは福祉士などが、賃金が低いなどがよくクローズアップされていまして、そういうところが離職率はどの程度のものなのか、そこまで大学は追跡調査をしていないので、何年働いているかは、その辺は分かりませんが、そこら辺の労働環境あるいは労働賃金との高めあいが今後検討していくべきではないかなと考えております。</p> <p>非常にまとまりのない話で急にふられましたので、ざっくりと話してしまいましたけど失礼します。</p>
前 田 会 長	<p>具体的な話をありがとうございました。</p> <p>その他何かありませんでしょうか。</p> <p>それでは事務方の方からも何かあれば、お願いします。</p>
事 務 局	<p>先ほど、委員の方から障害者雇用の問題であったり、雇用対策がありました。</p> <p>私共としては、前回の提言書の中で1番にきている若年者の地元企業への定住対策、U I J促進ここが1番、1丁目1番地頑張らなければならない問題なのかなと考えております。やはりここにスポット、フォーカスをあてて、会議の方、議論していただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
前 田 会 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>坂岡部長からも何かありますか。</p>

坂岡部長	<p>これだけの皆さまが、産学官金、その他の皆様もお集まりいただき色んなご意見いただける会です。前段、参事の方からも説明があったとおり、それぞれの立場で役割とか努力とか明記されておりますので、今後ともお力添えいただきまして、しっかりと提言書を仕上げていきたいと思ひます。</p> <p>先ほど、松橋もお話しましたが、継承というのがしっかりとされていなかったように昨年感じていましたので、そちらもしっかりと時代は変わって当時は良かったものが、今は違っているところもあると思ひますので、そこはそのままではなくて、また変えていくとか、そういうのも議論していただけたらと思ひております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>
前田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上ですけど、皆さん何かないでしょうか。</p> <p>以上をもちまして、第1回中小企業振興会議を閉会といたします。ありがとうございました。</p>